



院内感染対策ニュース

第75号 2019年11月20日

院内感染対策委員会

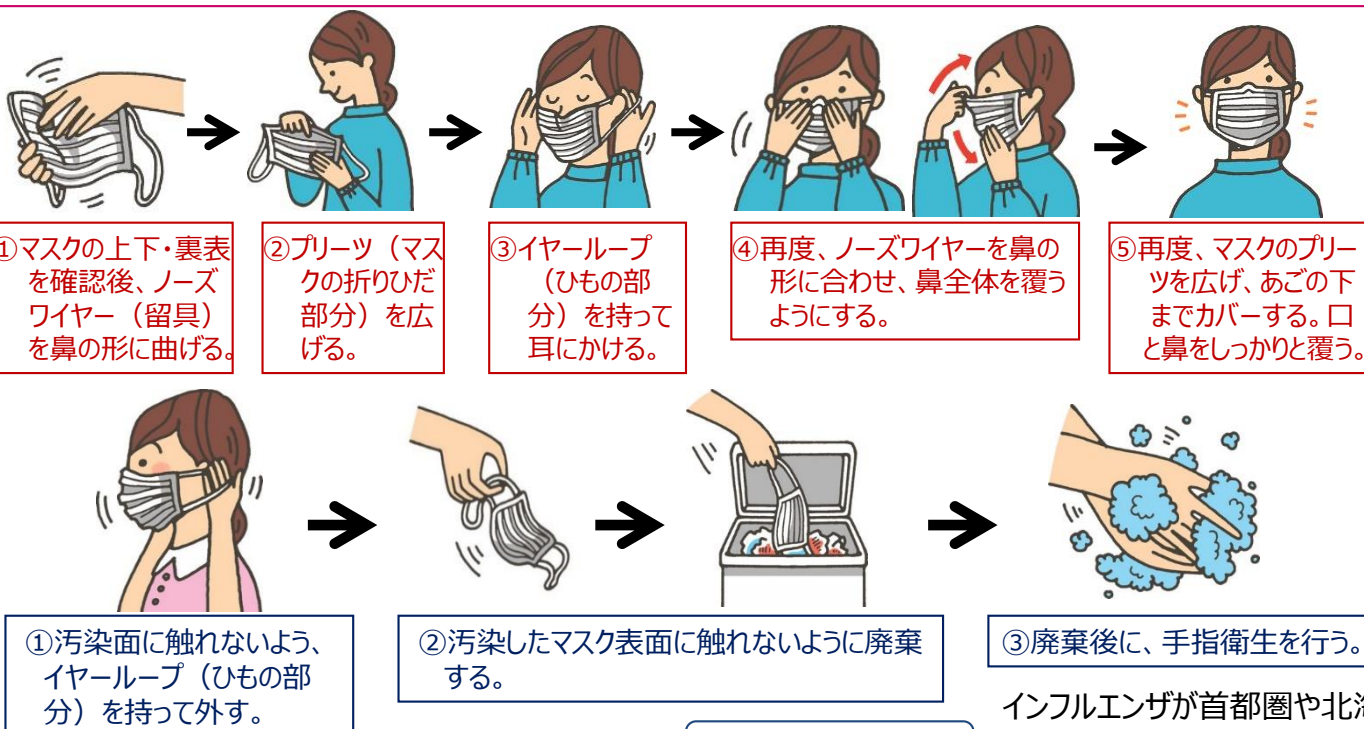
正しく使用できていますか？マスク

個人防護具は様々なものがありますが、マスクは微生物や有害物質の曝露から守り、微生物や有害物質の拡散を防ぎます。もう少しわかりやすく言うと、私たちが細菌やウイルスなどの曝露から守り、私たちが持っているかもしれないウイルスや細菌を人にうつしたり拡げないために必要な道具です。マスクはインフルエンザなどの飛沫感染対策に有効な個人防護具ですが、正しく着用できていないと感染したりさせてしまう危険があります。今回はマスクのつけ方について取り上げます。

★マスクの正しいつけ方★

★マスクの正しい外し方★

マスクはたくさん市販されています。いろいろな形はありますがつけ方は基本同じです。でも下のイラストのように正しくつけないと効果がありません。人にうつしてしまったり、もらってしまったり・・・当院でもマスクをして仕事をしている職員はたくさんいますが正しくつけられていない職員が散見されます。このニュースを見て今一度正しくつけられているか、自問自答してみてください。



自分は大丈夫？

こんない人いるかも?! マスクの間違った使用例



●鼻出し族（使用時）

鼻を出してサージカルマスクをしている。



●腕章族（使用后）

1度使用したサージカルマスクを再使用するため、腕に付けている。

●顎マスク

鼻・口を覆わず、顎にマスクをかけている。

マスクは正しく使用して
しっかり予防しましょう。
マスクは単回使用です！

インフルエンザが首都圏や北海道内でも増加しています。ひとり一人が正しい予防策を実践することが大切です。ワクチンの接種も症状軽減には有効です。マスクだけではなく、手洗い・手指消毒も大切です。体調の悪いときは無理せず休む。職員の方は今一度、院内感染対策マニュアルを確認して下さい。



寒くなりました。
体調管理もしっかりと！次回もまた読んでくださいね！